



桃山学院大学
St. Andrew's University

2022年11月25日

報道関係各社 御中

地域防災 × 留学生

留学生が「災害時の通訳ボランティア研修会」に参加

2022年11月29日（火）16:40～17:40

【本件ポイント】

- ◎南海トラフ巨大地震の発生率（40年以内）が90%程度に引き上げられました（政府の地震調査委員会）。
- ◎外国人への災害情報に対する聞き取り調査では、情報の言語について不安があると回答した外国人は全体の78.6%でした。（毎日新聞社／地方版）
- ◎桃山学院大学学長（中野 瑞彦／なかの みつひこ）、公益財団法人大阪府国際交流財団（OFIX）理事長（吉川 秀隆／よしかわ ひでたか）、大阪府知事（吉村 洋文／よしむら ひろふみ）は、災害時通訳・通訳ボランティアの確保等に向け、4月28日付で連携協定を締結しました。
- ◎協定に基づき、桃山学院大学に在籍する200名以上の外国人留学生を対象に、OFIXが運営する災害時通訳・通訳ボランティア制度へ登録し、研修を受講したうえで、災害時の言語支援を担います。
- ◎参加する留学生や本学を含む関係者へのインタビューが可能です。



本学留学生の様子
（イメージ）



本学留学生の様子
（イメージ）

【詳細】

桃山学院大学（大阪府和泉市、学長：中野瑞彦、2022年5月1日時点：学生数6,727人）では、災害時の外国人支援を充実させるという大阪府の方針を受け、本学に在籍する200名以上の外国人留学生を対象に災害時通訳・通訳のボランティア登録と研修を実施し、災害時の言語支援を担う取り組みを行っています。

政府の地震調査委員会（委員長・平田直東京大名誉教授）は、2022年1月13日、南海トラフ巨大地震の40年以内の発生率を「90%程度」と発表しました。前年に発表された発生確率「80～90%」から引き上げられた形となります。日本に在住している外国人のなかには日本語が不自由であったり、日本の生活環境に不安であったり、災害のことを知らなかったりする方も少なくなく、「災害時要援護者」と位置づけられています。2018年6月18日に震度6弱を観測した大阪府北部地震では、対応に戸惑う外国人観光客が多くみられ、災害情報をどう伝達するかという課題が浮き彫りになりました。

本学の和泉キャンパスがある大阪府和泉市における外国人の人口は、2002年の約1,900人から2020年には約

2,600人に増加しています（※統計いずみ「令和3年版」）。

今回の研修では、本学が連携協定を結ぶ公益財団法人大阪府国際交流財団（OFIX）より地震などの災害に備えて日頃から準備しておくことや心がけておいてほしいこと、実際に災害発生時にどのような対応が大切かなどを講義したうえで、実際のボランティアで活用できるように通訳の練習を行います。

現在、本学において災害時ボランティアに登録している留学生は16名になりますが、今回の研修は登録の有無に関わらず実施いたします。

【「災害ボランティア研修会」の概要】

日 時：2022年11月29日（火）16：40～17：40

場 所：桃山学院大学 和泉キャンパス 聖ヨハネホール（大阪府和泉市まなび野1番1号）

参加留学生：21名（インドネシア、ベトナム、台湾、大韓民国、中華人民共和国）

実施形態：対面

※上記日程において、留学生や本学を含む関係者への取材が可能です。

以 上

【本件に関する問合せ】 〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1 学校法人桃山学院 経営企画課 広報室

TEL 0725-92-7026 FAX 0725-54-3203 /E-mail koho09@andrew.ac.jp

※本リリースは、学校法人桃山学院経営企画課広報室が作成しています。内容等に関するご意見やご助言等、お待ちしております。